

「避難区域等の住民の皆さまの こころとからだの健康を見守ります」

こころの健康度・生活習慣に関する調査は、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の体験やこれらの災害による避難生活により、多くの方が不安やストレスを抱えていることから、県民のこころやからだの健康状態と生活習慣などを正しく把握し、一人一人に寄り添った保健・医療・福祉に係る適切なケアを提供することを目的に開始されました。

県民健康調査の「こころの健康度・生活習慣に関する調査」とは？
(福島県立医大放射線医学県民健康管理センターウェブサイト) より作成

【対象者】

- ・平成23年3月11日から平成24年4月1日までに避難区域等に住民登録をしていた方。
なお、この方については、避難区域等を転出後も対象としています。
- ・実施年度の4月1日時点で避難区域等に住民登録をしていた方。

〔避難区域等〕

広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、南相馬市、田村市、川俣町の全域及び伊達市の一部（特定避難勧奨地点関係地区）

【調査方法】

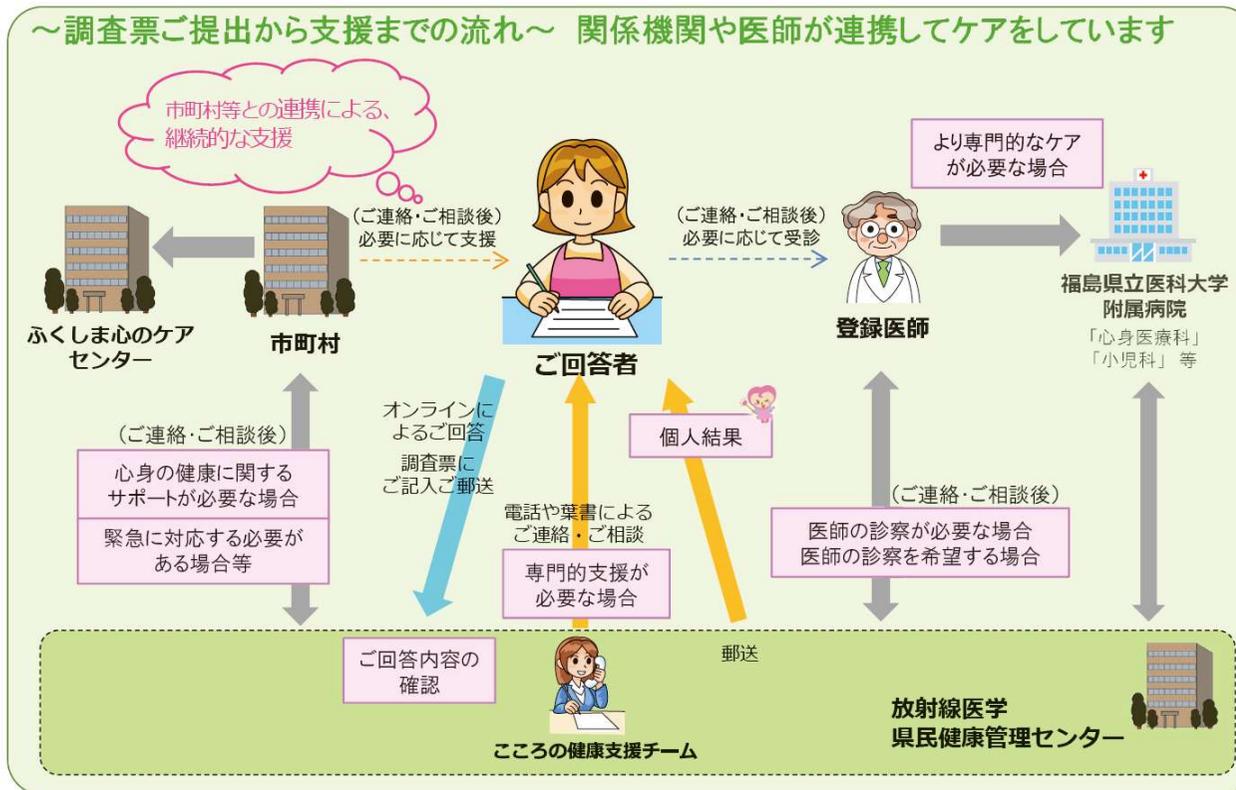
調査票（自記式または保護者回答）

【主な調査項目】

- ・現在のこころとからだの健康状態について
- ・生活習慣（食生活、睡眠、喫煙、運動など）について
- ・現在の生活状況について（「一般」）

【回答後の対応】

回答内容から、こころの健康及び生活習慣上、相談・支援が必要と思われる方には、臨床心理士や保健師などからなる「こころの健康支援チーム」が電話支援を行っています。継続的な支援が必要と思われる方には、登録医師や避難元の市町村等と連携し、支援を行っています。



- ※ 継続した支援が必要と思われる方には、地域の登録医師や市町村等と連携し、継続的なケアを行っています。
- ※ 平成26年度より個人結果通知書をお送りしています。

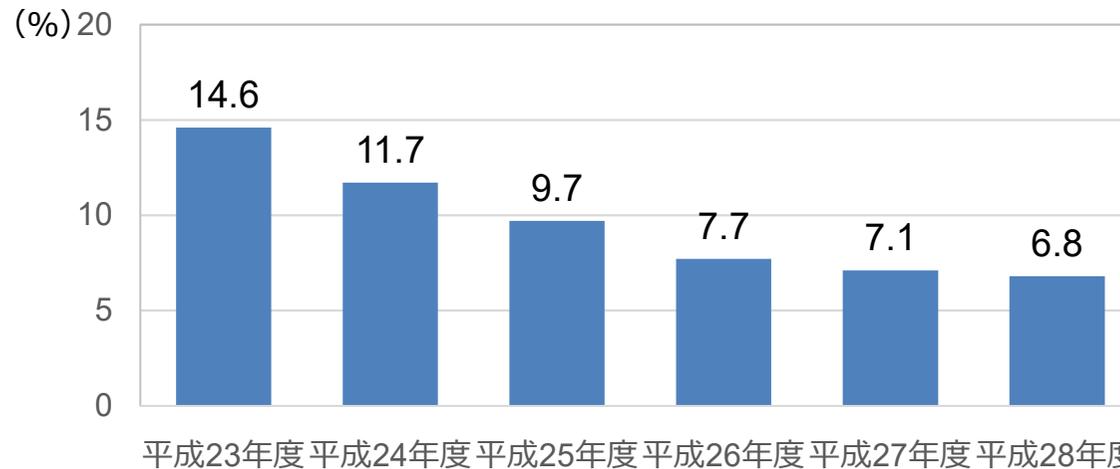
【登録医師】

災害時におけるメンタルヘルスや放射線医療に関する講習会を受講している、精神科・小児科等の医師。
平成30年6月末現在、81医療機関に129名の登録医師がいます。

	電話支援者数		文書支援者数	
	子ども	16歳以上	子ども	16歳以上
平成23年度	1,180	6,310	1,066	10,898
平成24年度	623	5,991	800	10,168
平成25年度	473	3,913	752	7,664
平成26年度	327	3,053	517	6,244
平成27年度	250	2,567	435	6,075
平成28年度	181	2,382	336	6,098

第11、15、19、22、26、27、31、32回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

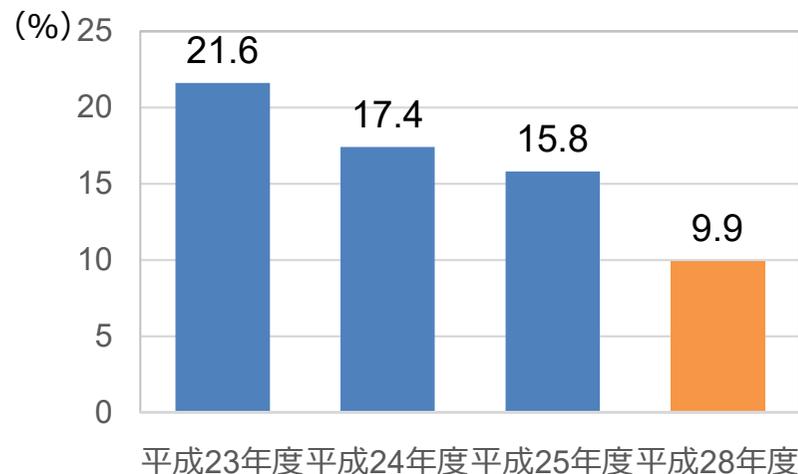
● 気分の落ち込みや不安に関して支援が必要と考えられる人の割合



測定尺度：K6*

* 気分の落ち込みや不安に関する6項目に0～4点で回答。合計13点以上で、気分障害や不安障害の可能性を疑う。

● 被災で生じた「トラウマ反応」に関して支援が必要と考えられる人の割合



測定尺度：PCL* (平成23年度～25年度)
PCL-4** (平成28年度)

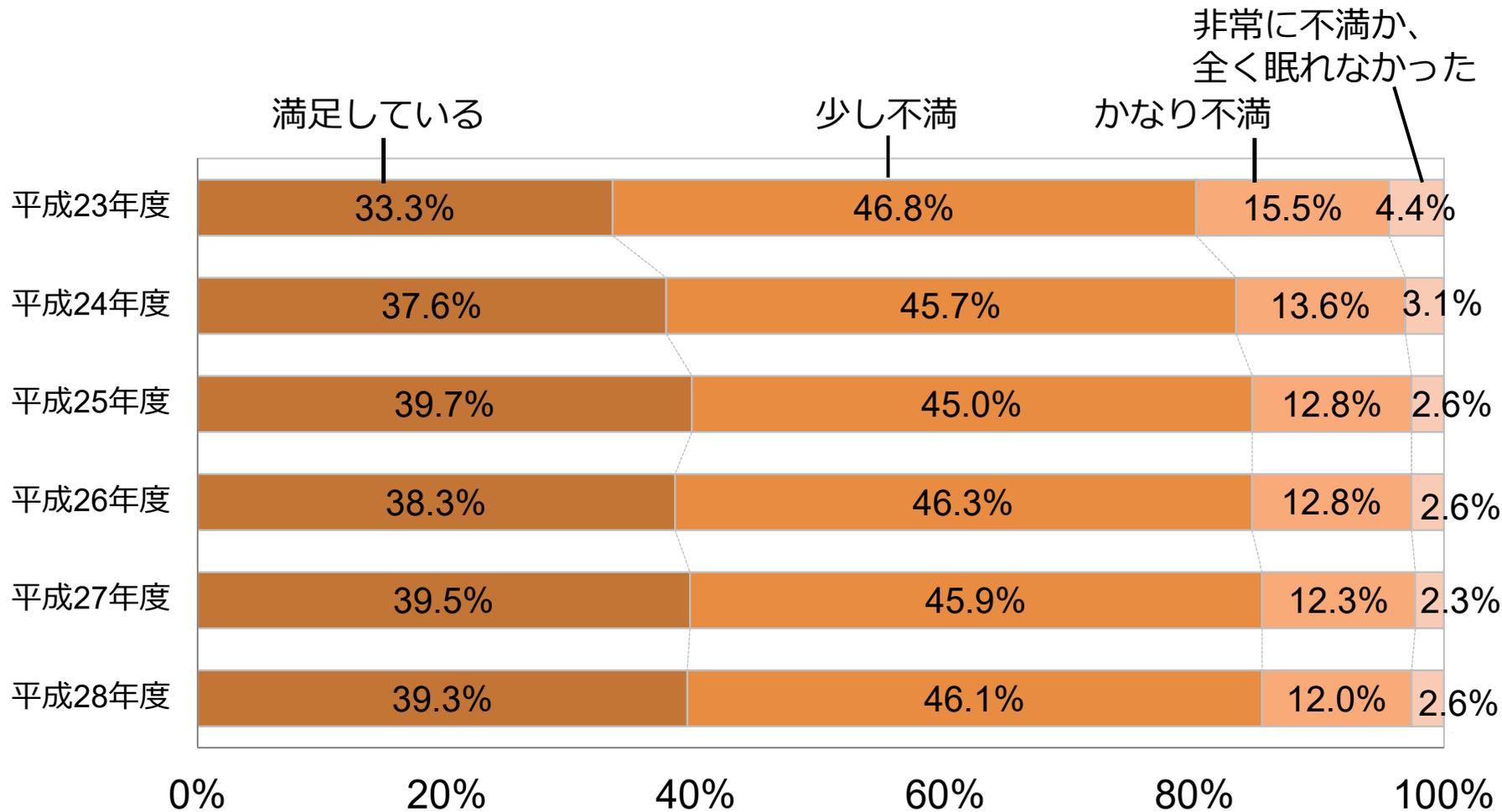
* 被災体験に対して、時々起こる問題や訴え(トラウマ反応)に関する17項目に1～5点で回答。44点以上で、PTSDの可能性を疑う。

** 4項目に1～5点で回答。12点以上で、PTSDの可能性を疑う。

※回答時の負荷を軽減するため、平成26・27年度調査ではPCLに関する設問を設けていない。

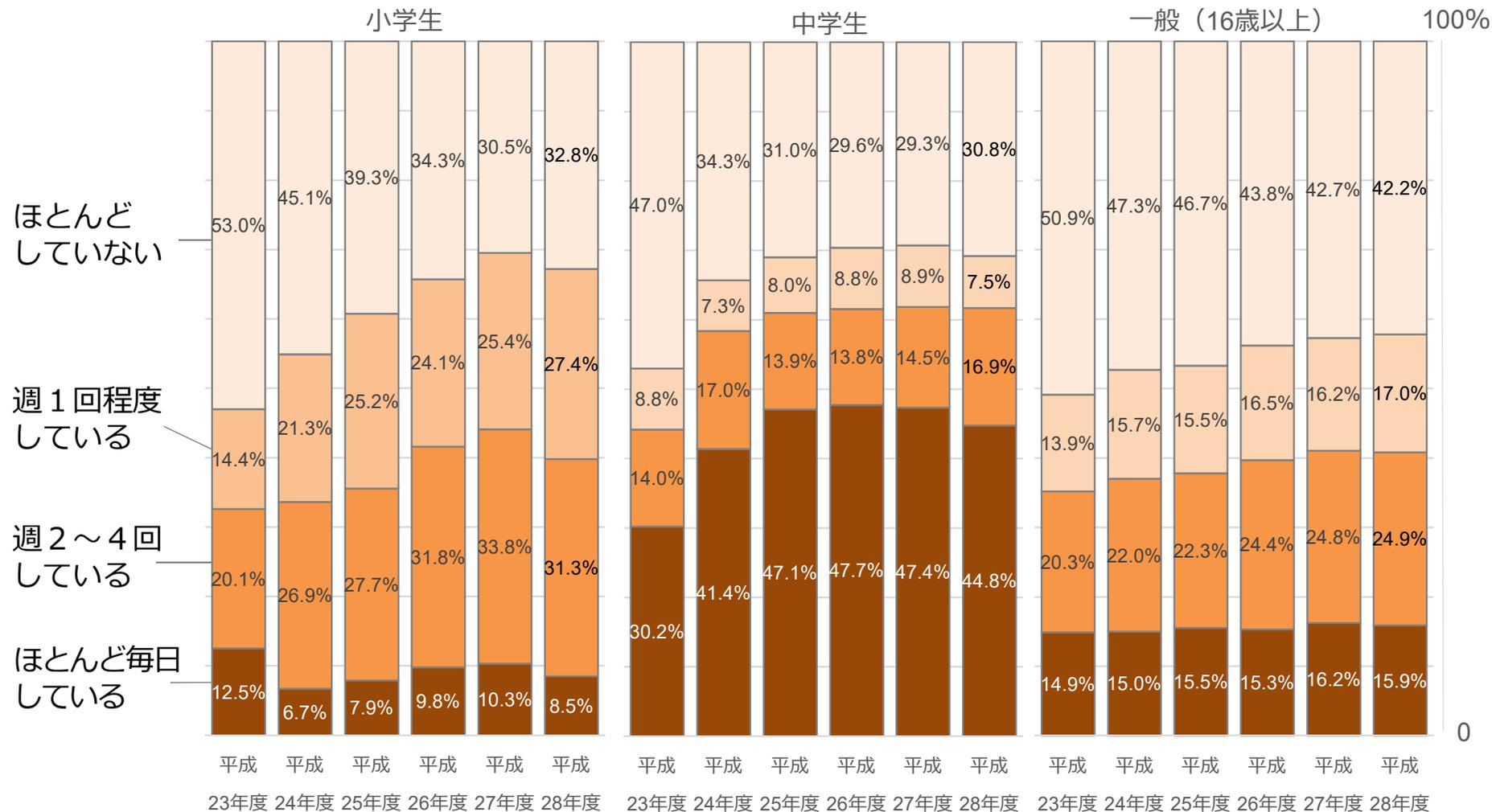
第11、15、19、23、27、31、32回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

【最近1か月間の睡眠の満足度】一般（16歳以上）



第11、15、19、23、27、31、32回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

【普段の運動についての割合】



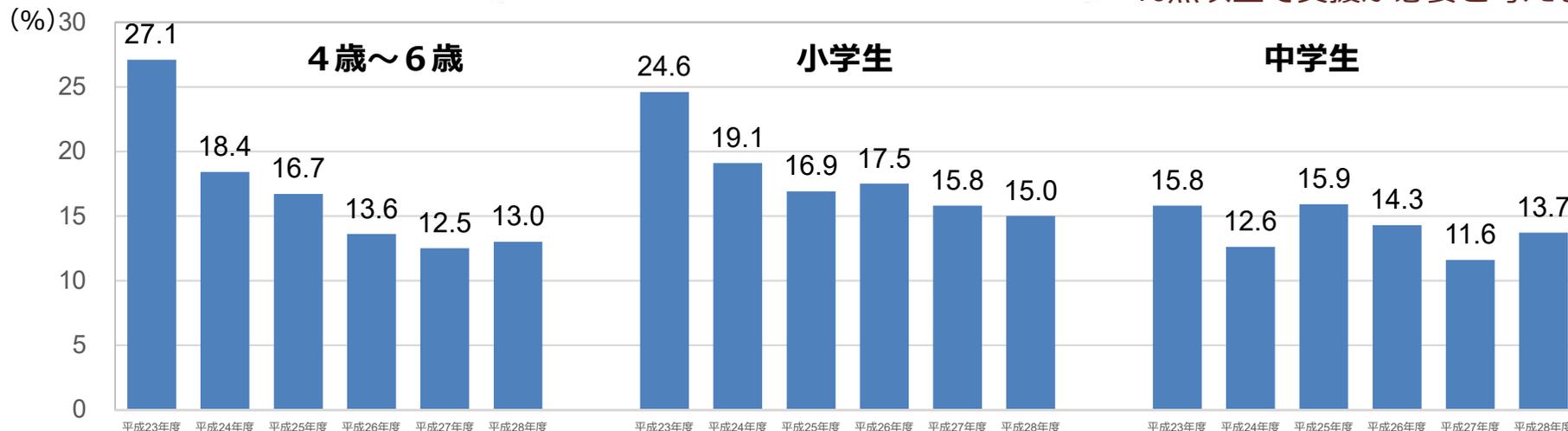
第11、15、19、23、27、31、32回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

【子どものこころの健康度】

支援が必要と考えられる子どもの割合 (男女別)

測定尺度：SDQ※
16点以上で支援が必要と考える

男児



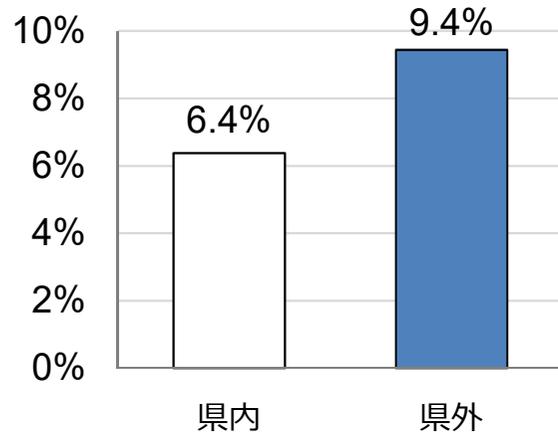
女児



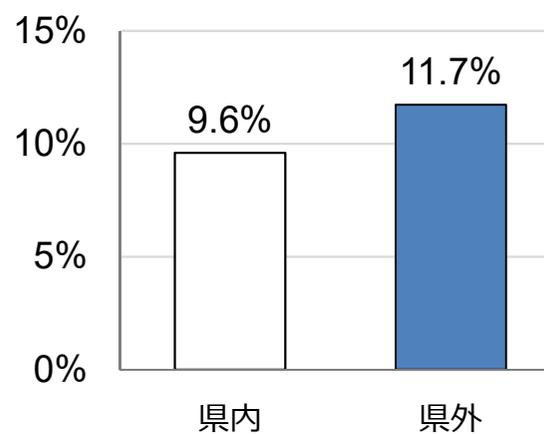
第11、15、19、23、27、31、32回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

【調査時住所別（県内・県外） こころの健康度 支援が必要と考えられる人の割合】

一般（16歳以上） K6



一般（16歳以上） PCL-4



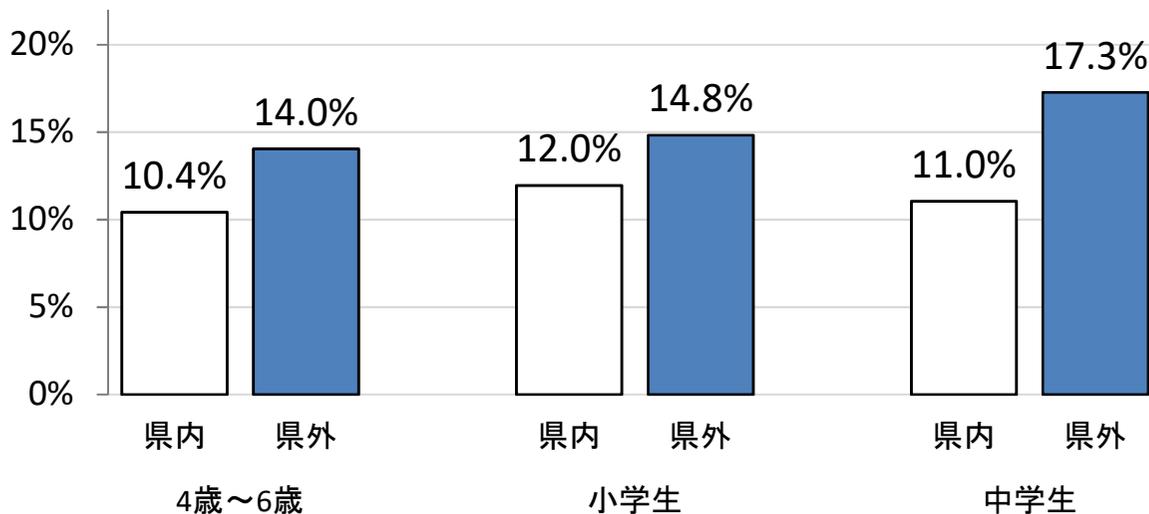
測定尺度：K6

気分の落ち込みや不安に関する6項目に0～4点で回答。合計13点以上で、気分障害や不安障害の可能性を疑う。

測定尺度：PCL-4

被災体験に対して、時々起こる問題や訴え（トラウマ反応）に関する4項目に1～5点で回答。12点以上で、PTSDの可能性を疑う。

子ども SDQ



測定尺度：SDQ

16点以上で支援が必要と考える。